



# 令和3年度岡崎市市民意識調査報告書概要版

## 岡崎市市民意識調査について

### 調査目的

令和3年度から始まった第7次岡崎市総合計画に基づく各分野の取組みを参考に市民意識を調査し、本市のまちづくりに反映させることを目的とする。

### 調査概要

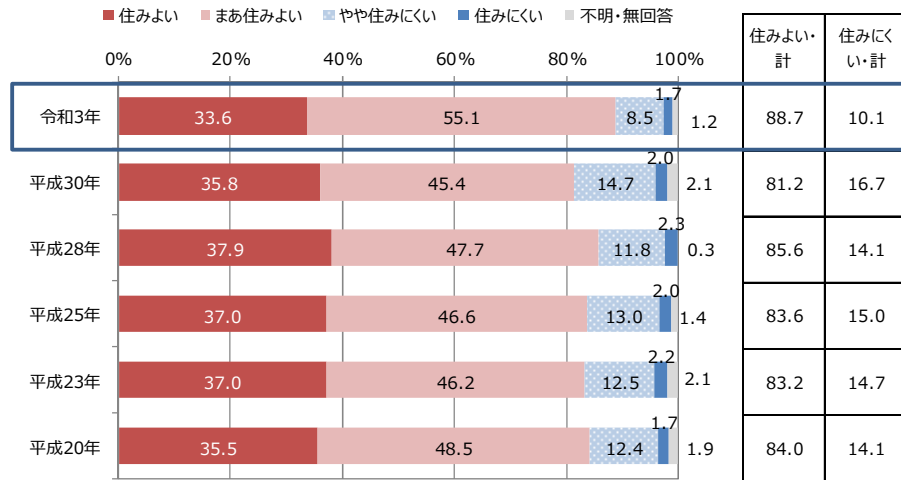
対象地域 岡崎市内全域  
対象者 18歳以上の市民5,000人  
調査方法 アンケート調査（紙・Web）  
調査期間 令和3年9月27日～10月24日  
回収状況 3,028人（回収率：60.6%）

### 調査項目

1. 回答者の属性
2. 岡崎のまちについて
3. 市の取組みへの関心度・関与度
4. 市の取組みについての評価

## 岡崎市の住みよさについて

⇒報告書p6



	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
全体[人]	3,028	46	273	361	549	483	515	535	247
住みよい [人]	2,686	42	247	319	486	431	459	478	220
まあ住みよい [%]	88.7	91.3	90.5	88.4	88.5	89.2	89.1	89.3	89.1

\*「不明・無回答」の集計結果は記載を省略しております

岡崎市を住みよいまちだと思いを尋ねたところ、「住みよい」が33.6%、「まあ住みよい」が55.1%で合計88.7%が岡崎市を住みよいまちであると評価している（市民の方の9割近くが住みやすさについて肯定的な評価をしている）。

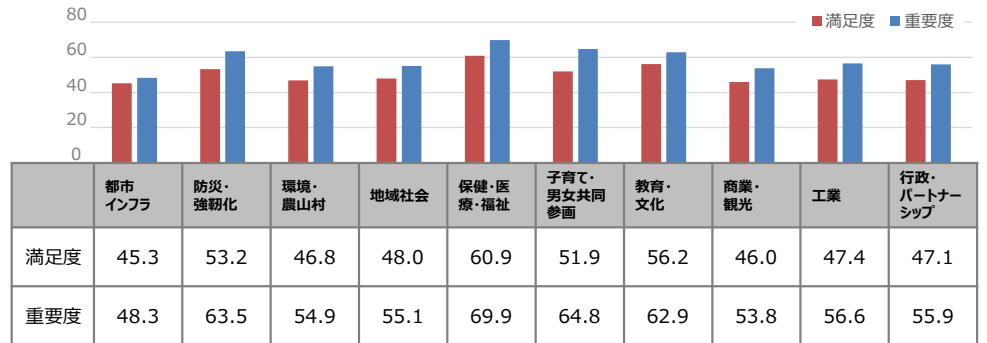
経年変化をみると、近年まで最も高かった平成28年（85.6%）のスコアも上回っている。  
年代別でみると、10代の「住みよい・まあ住みよい」が91.3%と他の年代と比較して高い。

## 報告書の所在

PDF版報告書 <https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1551/100500/p035380.html>  
冊子版報告書 市政情報コーナー（西庁舎1階） 中央図書館

## 市の取組みについての評価満足度・重要度

⇒報告書p93



10分野の市の取組み評価（満足度）について比較すると、「保健・医療・福祉」の満足度が最も高く、次いで、「教育・文化」「防災・強靱化」「子育て・男女共同参画」が続いている。  
重要度は「保健・医療・福祉」が最も高く「子育て・男女共同参画」「防災・強靱化」「教育・文化」が続いており、満足度と類似した傾向が見られる。

## スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器の活用状況

⇒報告書p32

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
とても使いこなしている・まあ使いこなしている	52.1	67.4	76.6	70.4	71.0	62.1	46.2	25.6	4.9
使いこなしていない・所有していない	45.9	30.4	23.4	29.1	28.2	37.3	52.2	70.5	89.5

年代が低い層ほど、「とても使いこなしている」人の比率が高く、60代以上では「使いこなしている」の合計が5割を下回っている。80歳以上の人は「所有していない」が54.7%を占めている。

## 市政情報の入手・確認方法の希望

⇒報告書p89

	1位	2位	3位
全体	広報誌	回覧板	ホームページ
10歳代	回覧板	SNS	ホームページ
20歳代	SNS	ホームページ	広報誌
*30～50歳代	ホームページ	広報誌	回覧板
*60歳代以上	回覧板	広報誌	ホームページ

\*順位が共通している年代は表を統合しております

年代別でみると、年代が高いほど「広報誌」「回覧板」の比率が高い。特に60代以上は「広報誌」「回覧板」の比率が5割以上を占めており、20代、30代などと比べて差が大きい。その他、「ホームページ」は30代～50代、「LINE等対話型アプリ」は20代～40代、「SNS」は10代～30代など、年代によって希望する入手・確認方法が異なる。

## お問合せ先

岡崎市役所 総合政策部 企画課  
TEL 0564-23-6032